〝ミスにいつ〟に古川さん
準ミスにいつは曽我さん、阿部さん

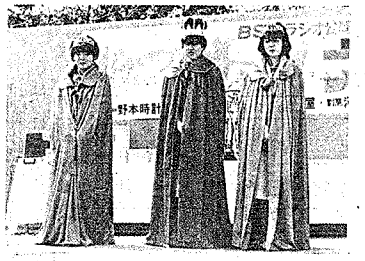
四月二十一日、秋葉公園平和塔前で園遊会が開かれ、約一万五千人の皆さんが集まりました。その席上、今年のミスにいつ、準ミスにいつが発表されました。ミスにいつは吉川晴美さん(日宝町)、準ミスは曽我由美子さん(柄目木)、阿部照美さん(新町二)です。

ミスにいつに選ばれた吉川さんは、昭和四十年生まれの十九歳。市内にお勤めの新聞記者で、趣味はテニス、バレーボールというお嬢さんです。

また準ミスにいつに選ばれた曽我さんは、昭和四十年生まれの二十歳の理容師です。テニスが趣味で、ペン字は二級という一面も持っています。

阿部さんは、昭和三十七年生まれの二十二歳。家事手伝いをしていて、ウィンドサーフインなどが得意です。

なおミスに選ばれた三名の方は、今年一年間、市民の代表として市の各種行事や各種団体の行事に参加していただくことになっています。


園遊会でミスにいつ、準ミスにいつの発表

ミスにいつ　吉川さん

準ミスにいつ　曽我さん

準ミスにいつ　阿部さん

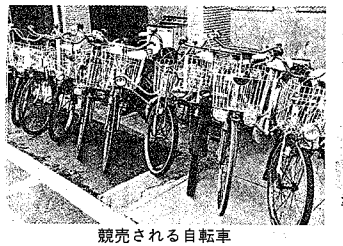
国税モニターに古川さん

昭和六十年度の新津市の国税モニターが決まりました。古川光三郎さん(新町一―二一二九 ☎22―0308)です。

国税モニターは、皆さんのご意見などを税務署へ通すパイプ役です。税金についてご意見、ご要望、苦情などがありましたら、お気軽にご相談ください。

なお、皆さんのご意見は今後の税務行政に生かされることになっています。

古川光三郎さん


競売される自転車

整備した放置自転車を競売

市では、環境整備基本条例に基づいて、6か月を経過しても引き取りがなかった放置自転車を、高齢者事業団で払い下げを受け、市民の皆さんに競売することにしました。

どの自転車も、自転車商協同組合の協力で立派に再生されたものです。ご希望の方はお出かけください。

□とき…5月10日(金)の午前10時から午後3時まで
□ところ…老人福祉センター(秋葉1)
□自転車台数…9台(どの自転車も点検整備済で、傷害保険つきのTSマークが貼付されています)
□最低価格…1台5,500円

生ごみ処理器をあっせんします

家庭から出される「生ごみ」は年々増加していますが、この生ごみを減量し、ごみ焼却場の焼却効率を高め、堆肥としての資源化を進めるため、市では昨年、「生ごみ処理器設置事業補助金交付要綱」を制定し、今年も生ごみ処理器のあっせん、補助を行います。

市であっせんする生ごみ処理器は、下の表のとおり三種類で、各世帯一個(購入費の三分の二以内で二千円限度)を補助対象とします。この生ごみ処理器は、台所の生ごみや雑草など、有機物ならなんでも投入でき、二~三か月で良質の堆肥になります。

家庭の生ごみを堆肥にリサイクルし、ごみの減量化を進める「生ごみ処理器」をぜひ皆さんのご家庭にお備えください。

申し込みは五月上旬の町内回覧で

申し込みは、五月上旬に行う町内回覧のとき、各町内の公衆衛生協会支部長(各区長さん)にすることになっています。くわしいことは、回覧をご覧ください。

なお、生ごみ処理器の配達は五月下旬の予定です。

生ごみ処理器のあっせん価格と補助額

大きさ	小型(120ℓ)	中型(150ℓ)	大型(230ℓ)
あっせん価格	5,500円	6,200円	7,800円
市補助額	1,800円	2,000円	2,000円
個人負担額	3,700円	4,200円	5,800円

価格は発酵促進剤1kg付、町内指定場所配達価格です(個人配達はできません)

お買物、ご用命は市内で

〔特選旅行〕お座敷列車で伊香保温泉の旅
飲んで唄ってくつろいで
6月5日(水)(1泊2日) 240名さま
6/5 新津(7:00頃)―高崎―桐生織物―三日月村―伊香保温泉(泊)(18:00頃)
6/6 ホテル―榛名神社―水沢観音―功三郎こけし―渋川―新津
◎見どころ 桐生織物、三日月村、榛名神社、水沢観音、こけし
お申し込みは 新津駅旅行センター TEL22-5470
市内の日鉄旅行社 TEL22-0951

贈答品・美術品
中野せともの店
本町4丁目 ☎22-1086

昭和夜話(109)

(1)『日本列島改造論』の影響

『日本列島改造論』は、結果として地価を暴騰させ、延いては、土地成金を増やしたようなものであった。

○土地成金殖やしただけの改造論(長井徳市)
○土地成金田中首相に最敬礼(仁平白兎)
○建築士儲かるように線をひき(仁平白兎)
○ファミリーが買占めてから改造し(小林美枝子)

この頃に新潟川柳で単にファミリーといえば、田中ファミリーのことであった。

○子ら遊ぶ砂場今日も一つ消え(遠藤千代子)
○角さんを神社にまつる土地成金(矢田鼓腹)

右は若干誇張的表現であるが、この裏には、地価高騰のためにマイホームも建てられずに、困惑している庶民大衆の生活が暗示されている。

新幹線も、日本列島改造論と深い関係があり、また地価暴騰ともつながっている。

○新幹線列島中を廊下にし(矢田鼓腹)
○列島にレールを敷いて総値上げ(吉田芳雲)

これで、物価は改造論のお蔭で、敷いたレールの上をひた走りに走るようになった。

これは、そのために利益を得た新幹線沿線の選挙票にも関係し、

○新幹線沿線の票みなとる気(小林いずみ)

ところが、川柳子の中の識魔鏡の中に如実に写し出そうと、待ち構えているのであった。

中には、もう角さんの運命も既に断崖絶壁の上にあると見て、

○絶壁で元ブルドーザーは夕日見る(佐野フサ)

と詠んでいる女性もある。もちろん、「元ブルドーザー」とは、今はもうその動きの鈍ってきている角さんのことを象徴しているものである。

(2)狂乱物価と物資隠匿

昭和48年十一月頃、関西の大団地、千里ニュータウンでは、トイレットペーパーや紙おむつなど紙製品がスーパーから姿を消し、東京や横浜でも同様の買い溜め騒ぎが起きたことがあった。

この騒ぎは、その筋の指示、勧告、監視によって、やや鎮静したが、未だ秘かに物資隠匿、売り惜しみが行われ、各家庭の主婦連は、それとなく大倉庫に運び込まれたり、搬出される商品を連携監視し、ヒを告発したり、頻りに話題にしたりすることがあった。

このような現象が、49年になっても続いていたことは、次の川柳によっても納得されることである。

○かくれんぼして物資が出世する(誠童子)
○紙不足、なるべく会社で用を足し(笠原夢迷)
○大倉庫近所の主婦に監視され(登坂栄子)
○ない品が値上げた途端面を出し(小林登志雄)
○狂乱の物価に揺れる大八洲(金塚武象)
○値上げ品忍者のように姿消し(今井七郎)
○春闘旗上げ狂乱物価へ拍車かけ(石川小坊主)
○もう我慢出来ぬと春闘むしろ旗(神林秀和)
○罪みんな石油に着せ値上げする(白井大吉)

阿達夜潮音

この前後に、石油ショックにかこつけて、何でも値上げ――便乗値上げする者が多かった。

それにしても、この頃の川柳子の視角から考えてみると、意図的かどうかは別として、大衆は、通産省の役人の態度に疑惑の眼を光らせていたようである。

○通産省マッチポンプの範を垂れ(中山三郎)

〈マッチポンプ〉とは、自分でこっそり火をつけて置きながら、人の見ている所で消して見せて、自分の手柄にすることである。

この年に物資隠匿の巨商と考えられ、(値上げの証人として議場に呼び出し、糾明すべきところを)役人連がただ参考人の程度でやんわり釈明させたことがあった。そして、その釈明の変な所を役人が突いて見せるというようなことがあったが、他の者がその答弁の「つじつま」の合わない点を、根掘り葉掘り問い正したりすると、(役人の方で、これは大変だと)息をひそめて黙っているなど何となく変であった。

○ボロ出したとこ通商省は突いてみせ(下村靖男)
○通産省根掘り葉掘りに息ひそめ(源川敏男)
○献金で手心を見せる参考人(橘力)

以上を綜合してみると、参考人として呼出されたのは、大商社の主脳部であり、既に関係役人の定年後の天下りのことまで、暗黙のうちに決められていたようにも思われる。

○狎れ合いの商社へ古手天下る(板垣笑児)

右は、角さん時代の句ではあるが、角さんに直接関係はないようである。ただ、次の三句は、いずれも角さんと大企業が詠まれている。

○角さんの運命握っている大企業(はかま缶)
○角さんの睨みを笑う大企業(関谷栄郎)
○断崖にブル財界に見離され(四つ子太郎)

(新潟大学名誉教授)

古切れ、古浴衣を募集します

おむつ作りの材料になる古布切れや古浴衣などがありましたら、社会福祉協議会(本町四、☎24―8376)へお寄せください。

お買物、ご用命は市内で

本町4 チューリップ店会 お店紹介

健康と美容のご相談は是非当店へ
白井薬局
美顔器でのお手入れ ご紹介しております。
◇本店 新津市本町4 (22)0210 ◇ドラッグしらい 長崎屋店内 (25)1123
◇駅前白井化粧品店 駅前美好グリーンビル内 (23)1020